

医療機器等ガイドライン 活用セミナー #19
スマート治療室ガイドライン解説
「手術室 IoT が創る未来と開発ガイドライン」

日 時: 2018年12月5日(水) 13:00~17:00 (受付 12:30~)

会 場: コンgressクエア日本橋(ホール C・D)
東京都中央区日本橋 1-3-13 東京建物日本橋ビル 3階

参加費: 無料 参加申込はこちら: <http://md-guidelines.pj.aist.go.jp/>

主 催: 日本医療研究開発機構・産業技術総合研究所

共 催: 経済産業省・厚生労働省・国立医薬品食品衛生研究所

後 援: 日本医療機器産業連合会、日本医工ものづくりリコモنز、ヘルスソフトウェア推進協議会、
日本医療機器学会、日本機械学会、日本コンピュータ外科学会、日本人工臓器学会、
日本生体医工学会、日本内視鏡外科学会、レギュラトリーサイエンス学会、
再生医療イノベーションフォーラム、日本人工関節学会、日本整形外科学会 (順不同)

プログラム(案)

| | | | |
|-------|--|----------|-----------------------|
| 13:00 | 開会挨拶 | 仲山 賢一 | 日本医療研究開発機構 |
| 13:05 | 経済産業省の医療機器産業政策と開発ガイドライン策定事業について | 竹下 大輔 | 経済産業省 |
| 13:25 | IoTで実現するスマート治療室 SCOT | 村垣 善浩 | 東京女子医科大学 先端生命医学研究所 |
| 13:50 | スマート治療室の技術概要と関連プロジェクトの紹介 | 岡本 淳 | 東京女子医科大学 先端生命医学研究所 |
| 14:15 | スマート治療室のシステム構成・運用に関する開発ガイドラインの概要 | 小関 義彦 | 産業技術総合研究所 |
| 14:40 | 外科手術に対する情報支援プラットフォーム | 後野 和弘 | オリンパス株式会社 |
| 15:05 | 休 憩 | | |
| 15:20 | スマート治療室開発ガイドラインへの期待 ~アプリケーション開発の視点から~ | 小黒 貫太 | パイオニア株式会社 |
| 15:45 | スタンダードスコットの導入と使用経験 | 後藤 哲哉 | 信州大学医学部附属病院 |
| 16:10 | 医療保険における医療機器の位置付け | 鈴木 孝司 | 医療機器センター |
| 16:35 | 総合討論・質疑応答 | 司会:小関 義彦 | |

(敬称略)

本セミナーは、日本医療研究開発機構 (AMED) 事業「平成 30 年度未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業 (医療機器等に関する開発ガイドライン (手引き) 策定事業)」の一環です。
医療機器開発ガイドライン HP: <http://md-guidelines.pj.aist.go.jp/>

スマート治療室ガイドライン解説

「手術室IoTが創る未来と開発ガイドライン」

【開催趣旨】

スマート治療室は手術室内のIoT化・ネットワーク化を進めることによって、手術中に得られる情報の質や量を飛躍的に向上させ、そこで得られた情報を活用することで大きな価値を生み出すと期待されています。

医療機器等に関する開発ガイドライン(手引き)策定事業では、ネットワークで接続された様々な機器が適切に構成・運用されるために有用な考え方をスマート治療室開発ガイドラインとして取りまとめてきました。今後、このようなスマート治療室を開発普及させ社会還元するには、臨床機関や機器開発者はもとより多方面の協力と連携が重要です。

本セミナーではスマート治療室開発に関わる各方面の取り組みと本ガイドラインの概要について紹介いたします。

【セミナーに関するお問い合わせ】

医療機器等開発ガイドライン事業実務委員会事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

健康工学研究部門内

〒305-8564 茨城県つくば市並木1-2-1

E-mail:md-guidelines@aist.go.jp

TEL:029-861-7840

【会場のご案内】

コングレスクエア日本橋（ホールC・D）

東京都中央区日本橋 1-3-13 東京建物日本橋ビル3階

アクセス：<http://congres-square.jp/access/>

東京メトロ「日本橋駅」直結

東京駅日本橋口から徒歩5分

